令和7年度城端・氷見線活性化推進協議会総会 議事要旨

日 時：令和7年7月8日（火）14：00～14：45

場 所：高岡市役所8階 802会議室

委 員：33名中29名出席

議事要旨：以下のとおり

【議案第1号】令和6年度事業報告及び収支決算報告

事務局説明

監査報告

⇒承認

【議案第2号】規約の一部改正について

事務局説明

⇒承認

【議案第3号】令和7年度事業計画(案)及び収支予算(案)

事務局説明

⇒承認

【事業報告】

事務局説明

- ・「城端線・氷見線沿線地域公共交通計画」進捗報告 資料1、2

【その他】

富山県交通政策局 田中局長説明

- ・城端線・氷見線の再構築に向けた取組みについて

【委員からのご意見等】

○南砺市地域づくり協議会連合会 松本 会長

現在、城端線・氷見線の再構築事業を国の支援を受けながら進められているが、今後30分に1本のパターンダイヤなど、今よりも運行本数が増えることになるが、この増便試行はいつまで続けていくのか。

⇒事務局回答

活性化協議会は、現在の城端線・氷見線の活性化のため、城端線の増便やべるもんだのおもてなし事業など、県からの補助金と沿線4市の負担金で事業を行っている。一方、

再構築事業は、国からの支援を受け、新型車両の導入や IC への対応の他、あいの風とやま鉄道への経営移管後に運行本数を増やすために必要な整備等を行うものである。

現在の市民の足を守るという意味で、新幹線、あいの風とやま鉄道線、氷見線との接続を考えて、増便を JR 西日本にお願いしているものであり、増便試行期間については現状では未定である。

○一般社団法人 氷見市観光協会代表理事 松原 会長

新型車両のデザインが決定しているので、変更するのは難しいと思うが、アニメのキャラクター等を採用することで、観光の面でも人気ができるのではないかと考えている。

○加越能バス株式会社取締役社長 代理 山崎 部長

活性化協議会から高岡・城端鉄道少年団に補助されているが、「少年団」という名称は、時代に合っていないような気がする。

⇒事務局回答

名称については、JR 西日本と相談しながら検討していく。

以上

令和7年度 城端・氷見線活性化推進協議会 委員名簿

所属	役職	氏名	備考(代理)	出欠
高岡市長	会長	角田 悠紀		○
氷見市長	副会長	菊地 正寛		○
砺波市長	副会長	夏野 修		○
南砺市長	副会長	田中 幹夫		○
南砺市副市長	監事	齊藤 宗人		○
国土交通省北陸信越運輸局富山運輸支局長		小松 美保子	首席運輸企画専門官 角井 繁俊	○
国土交通省北陸地方整備局富山河川国道事務所長		中谷 洋明		欠席
富山県交通政策局長		田中 達也		○
富山県土木部長		金谷 英明	道路課 主幹 江上 敦士	○
高岡警察署交通課長		山田 康則	規制係長 若林 勇太郎	○
氷見警察署地域交通課長		竹本 光司		○
砺波警察署地域交通課長		愛場 路泰		○
南砺警察署地域交通課長		小竹 拓郎		○
射水警察署交通課長		山崎 永通		欠席
西日本旅客鉄道株式会社執行役員金沢支社長		石原 利信		○
あいの風とやま鉄道株式会社代表取締役社長		伍嶋 二美男		○
万葉線株式会社代表取締役社長		中村 正治	代表取締役専務 楠 達男	○
加越能バス株式会社取締役社長		松井 康浩	自動車部長 山崎 勝	○
高岡商工会議所会頭		塩谷 雄一		○
氷見商工会議所会頭		寺下 利宏	専務理事 本田 孝則	○
砺波商工会議所会頭		米原 嘉孝	専務理事 小幡 和彦	○
高岡市商工会会長		松嶋 浩二	理事 夏見 久志	○
南砺市商工会会長		川合 声一		欠席
公益社団法人 高岡市観光協会会長		塩谷 雄一	専務理事 藤田 辰昭	○
一般社団法人 氷見市観光協会代表理事会長		松原 勝久		○
一般社団法人 砺波市観光協会会長		坂井 彦就		○
一般社団法人 南砺市観光協会会長		川合 声一	専務理事 此尾 治和	○
高岡市連合自治会会長		角玄 富雄		○
氷見市自治振興委員連合会会長		大嶋 充		欠席
砺波市地区自治振興会協議会会長		前田 幸雄		○
南砺市地域づくり協議会連合会会長		松本 久介		○
JR越中中川駅利用促進協議会会長		利田 昭彦		○
JR戸出駅利用促進協議会会長		夏見 久志		○

(33名)